

令和2年度の業務実績に関する評価結果を踏まえた業務運営の改善等への反映状況

中期計画項目	令和2年度の 業務実績評価における指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和3年度以降の改善の状況
<p>I 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>4 質保証連携</p> <p>(1) 大学等連携・活動支援</p> <p>③大学ポートレート</p>	<p>大学ポートレートについて、各業務実績がどのような成果に結びついているのかを明確にするために、連携による成果を定性的または定量的どちらでも構わないので、今後は明示的に示していただけることを期待する。</p>	<p>大学ポートレートは、大学ポートレートステークホルダー・ボード（以下「ステークホルダー・ボード」という。）での意見や関係団体からの要望を踏まえ、大学ポートレート運営会議（以下「運営会議」という。）の審議を経て日本私立学校振興・共済事業団と連携して様々な改善を進め、これまでに公表項目・検索項目の追加、モバイル対応や認証評価での大学ポートレートの活用等、国公立版と私学版が共通して対応を行ってきた。</p> <p>令和3年度においては前年度の運営会議での議論を踏まえ、私立大学等の個別データの公表・活用・共有について私学団体へ説明や意見の聴取を行った。</p> <p>機構が運用している国公立版ページにおいては、一覧機能の導入や国際発信版の公開を行った。これらの対応の結果、大学ポートレートの国公私全体の参加状況は設置当初から7.9%上昇し、95.4%となった（令和4年度末現在）。</p> <p>また、機構の大学ポートレート・大学情報システム内に構築した「国公立情報活用サイト」の活用を促進するために令和3年度に開催したセミナーでのヒアリングにおいては、分析の基礎データとして指標を算出してモニタリングすることや、幹部への説明時やデータ確認等に分析レポートを使用すること等、同サイトの活用が進んでいることが確認されている。</p> <p>令和4年度には分析能力の向上等を目的としたレポートのリニューアルを行い、説明会を開催した。その際実施したアンケートでは、レポートについて5段階評価で4.07の評価を得たほか、レポート活用のために新たに大学ポートレートへ参加したい、執</p>

中期計画項目	令和2年度の 業務実績評価における指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和3年度以降の改善の状況
		<p>行部の教員による利用も検討したい等の記述があった。</p> <p>また、公立大学協会から公立大学実態調査データの提供を受け、大学からの意見聴取なども行いつつ共同で公立大学実態分析レポートを作成した。</p> <p>さらに、令和4年度においては文部科学省中央教育審議会大学分科会質保証システム部会「新たな時代を見据えた質保証システムの改善・充実について（審議まとめ）」及びステークホルダー・ボードにて指摘された大学ポートレートにおける認証評価の表示方法について、日本私立学校振興・共済事業団と調整の上、統一性をもって認証評価結果を表示することを確認し、運営会議において対応を進めることを了承された。</p> <p>今後も大学ポートレートが利用しやすいようステークホルダーから意見を聴取し関係各所と連携をとりつつ検証を進めていく。</p>